

第1回草加市立小中学校通学区域審議会会議録

- 1 開催日時 令和4年7月26日(火) 午前10時～11時30分
- 2 開催場所 谷塚文化センター第1・2学習室
- 3 出席者
 - (1) 審議委員
生明 茂・船戸 姿子・木津 秀平・鈴木 道夫・安斉 義憲・関根 利幸・
市川 雅保・寺本 博美・笠井 誠司・藤田 四郎・大久保 秀夫
 - (2) 事務局
河野 健・鈴木 英治・小野 敦史・稲村 秀治
- 4 会議の議題
草加市立小中学校指定学校変更の許可に関する基準の在り方について
 - (1) 通学安全上の学校選択の在り方について
 - (2) 学校大規模化による学校選択の在り方について
- 5 公開・非公開の別
公開
- 6 傍聴者数
0名
- 7 会議の概要
 - (1) 委嘱式
 - ① 開式
 - ② 委嘱書交付
 - ③ 挨拶 山本 好一郎 教育長
 - ④ 閉式
 - (2) 協議
 - ① 役員選出 会長(1人) 副会長(1人)
 - ② 挨拶 新会長 生明 茂
副会長 船戸 姿子
 - (3) 諮問 山本 好一郎 教育長
 - (4) 審議会
 - ① 資料説明
 - 1、 草加市立小中学校通学区域審議会への諮問について(資料1)
 - 2、 草加市内小中学校学区区分図(資料2)
 - 3、 選択可能地域利用状況(資料3)
 - 4、 選択可能地域利用状況【地図】(資料4)
 - 5、 小学校選択可能地域指定校児童数予想推移(資料5)
 - 6、 今後の審議の進め方(案)(資料6)

② 審議

会長	本日の資料について、事務局より説明してください。
事務局	(資料1の諮問理由と資料2～6について説明)
会長	ここまでで、何かご意見やご質問はありますか。
委員B	最終的にどういう回答を望んでいるのですか？
事務局	小学校の学校選択可能地域の制度を利用してる児童が減っています。安全面の確保を念頭に導入された学校選択可能地域について、登下校時の見回り隊等の方々のご尽力もあり近年では安全面が確保されています。さらにそういった中で、幼保小中を一貫とした教育を草加市全中学校区で取り組んでいることや地域とともにあるコミュニティスクール制を導入しているという観点からも、より地域と密着し、地域と別の学校に行っているということについては、なるべく避けたいと考えています。その中で、この制度のあり方について必要かどうかも含めまして、ご検討いただければと思います。
会長	事務局の趣旨の説明については、子供たちは地域で面倒を見ていこうということを実現化する意味で、選択制というものが先ほどの説明にもありましたように、現状と実際に合わない部分があるということと、安全面を考えても、選択制によるメリットも少なくなってきたということがあるようです。それから、委員の方々がおっしゃっている地域の交通事情を考えると、事務局の方からは、できるだけ地域の学校に通わせる趣旨を踏まえた学区域のありかたについて意見を求めたいということでした。
委員G	資料4の谷塚小学校と新里小学校の⑤のところを見ると、小学校と中学校の学区のところで、ずれてるところにおいて選択制があつたりしますが、例えば⑤のところで谷塚小学校該当児童が64人で新里小学校に通っている児童が4人いるんですけど、指定校の谷塚小を選んで小学校卒業し中学校に入学する時に、指定校は、谷塚中学校になり、両新田中は選択できないということですか。
事務局	この選択地域で指定校の谷塚小に来ているという方については、指定校で両新田中も選べますし、幼保小中一貫教育の観点から、谷塚中に行くこともできますよというような形になります。
副会長	次回までにこういう資料があれば皆さん考えやすいと思います。まず1点目は草加市の安全安心マップです。大きな地図でわかりやすいです。2つ目の資料についてですが、資料3について、⑤～⑥の利用している子どもたちは何年生なのか分かる資料があると、数年後も見据えた話し合いができると思う。以上2点の資料をお願いしたい。
事務局	⑤と⑥について何年生の児童なのかということや、兄弟関係があるのかどうかということの状況を確認させていただきます。
委員G	草加市の地域の結びつきをという意味合いから、該当なつてるところがどちらの学区に入るや、選択制がなくなつたりすることによるこの線引きのところ、町会が分断されてるとかされてないとか、ということが知りたい。
委員A	資料1の諮問理由の中に、草加市では幼保小中からの強い繋がりや地域との密接な結びつき、子供たちは地域との深い関わりを持っているとあります。どのようなことをやっているのか。
会長	人的な交流もあるし、私も長栄町で清門小に呼ばれて、3年生4年生の勉強に地域を勉強する社会科の勉強があります。そういう時に地域の人材ということで、お年寄りだとか、そういう方を呼んでお話をしてもらつたりとかという場面は学校現場にあります。それ以外に何かPTAの方々でおありですか。
委員B	達人の会ということで、子供たちにもものづくりを教えたりしたことはあります。

委員B	<p>コミュニティスクールについては、草加市は3年目なので細かい方策を検討するのは難しい部分があります。これからの活動に期待して欲しいですし、長い目で見ていただかないと、現場としても大変なところはあります。審議を進めていくためにも、皆さんにもそのようにとらえてもらいたい。「数字だけを見て、選択制を使ってる人がいないから、では廃止しましょう」は簡単です。それに対して何でこんなに1年かけるなっていうのも疑問にはあるんですけど、多分そこに至るまでのプロセスの中で、委員の皆さんに学区に関わることを認識していただくことが大切なのかなと思う。また廃止したから大事故が起こったとか、そういうことも困ります。</p>
委員G	<p>各町会や地域、学校によって違いますが、例えば毎朝小学校で土曜日にバザーをやると言ったときに、町会が「餅つきやってあげますよ」とか、町会が、「町でお祭りやるから、中学校の吹奏楽部来てくれって」と言って、毎年吹奏楽部が参加して演奏したり、それを地域の方も楽しみにしてくれているというようなことは以前からやってることで、以前から学校と地域とが一緒になってその地域を盛り上げていくっていうことでやっています。</p>
副会長	<p>幼保小中一貫教育のリーフレットが谷塚文化センターにあったので本日一枚手に取ってきました。幼稚園、保育園、それから小学校と中学校の繋がり全部含めてやっぱり地域の繋がりなので、今コロナでなかなかできないのですが、実際に例えば、1・2年生が昔の遊びとかを行うとなると、地域の方が来てくださって、けん玉とか竹とんぼの作り方などでいろいろお世話になりました。6年生が家庭科の授業をやるといった時には、家庭科の先生一人では大変なので、地域の方が来て手伝ってくださいました。また、リーフレットに書いてあることでは、小学生と中学生が合同挨拶運動をやったりとか、それから小学生が中学行く前に部活体験させていたたりとか、小学校が幼稚園保育園のお子さんを小学校に呼んで一緒に遊ぶなど、地域の方々と子ども達でやっているところがありますので、わかりやすい資料としてお配りいただければと思います。コミュニティスクールもわかりやすい資料があれば、言葉だけだとわからないので、初めて聞いてると、具体的に想像しにくいところもあると思います。そういったものがあれば皆さんにお配りいただきたいです。</p>
<hr/> 委員	
<hr/> 委員	